

2015年(平成27年)10月2日(金曜日)

日刊

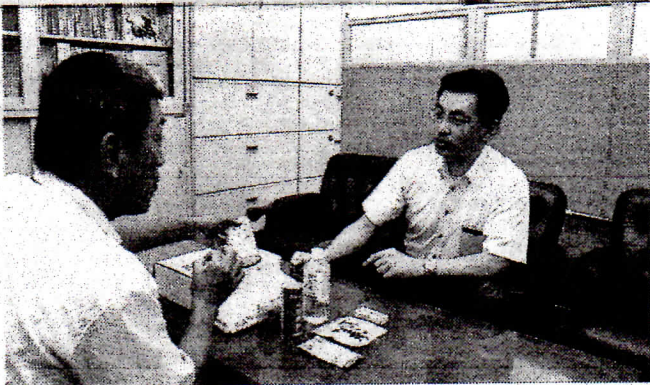
(7)

定価一カ月1887円(本体価格1748円)、日曜日のみ一カ月293円(本体価格272円)、一部73円(税込み)

非常用の備蓄を啓発

「白い小箱運動」をスタート

三重市 四日市市



「白い小箱」の中に入っている備蓄品について説明を受ける樋口市議◎

の強化をめざしている。

運動の趣旨

に賛同した同

市は、同推進

機構と「災害

用物資を活用

した防災活動

に関する協

定」を締結。

9月から市職

員に対し、非

常食や飲料

水、体力維持

に効果がある

とされるブド

ウ糖が入った「白い小箱」の購入を勧め、市民への個人備蓄の啓発も行っている。

「白い小箱運動」については、公明党の樋口博己市議が今年6月定例議会でも同運動を活用した個人備蓄の

推進を提唱。市長が同運動の活用を約束していた。

実現を受け、樋口市議は担当者から具体的な取り組みについて説明を聞き、「全市民的な備蓄の推進に努めてほしい」と話していた。

三重県四日市市はこのほど、一般社団法人・日本非常食推進機構と連携し、災害時に備えて、食糧や日用品などの個人備蓄を推進する「白い小箱運動」の取り組みをスタートさせた。この運動は、同推進機構が、備蓄を通して自助・共助・公助の機能強化を図ることを目的に展開。行政や企業・団体、地域住民に非常食などの入った「白い小箱」の備蓄を呼び掛け、防災意識の向上や災害対応力